

# 藍住町 議会だより

第34号

平成15年8月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp/gikai/index.htm>



第27回あいずみ納涼祭

## CONTENTS

定例会・陳情	p 2	常任委員会報告・全体研修	p10
一般質問	p 4	町民の声	p11
視察研修報告	p 8	議会のうごき	p12



# 6月 定例会

6月定例会は6月9日から18日までの10日間の会期で開会された。

平成15年度一般会計補正予算など13議案と議員提案の意見書1件を原案のとおり可決した。また議会副議長の辞職に伴い議会副議長の選挙と議席の一部変更が行われた。

## 町長提案

- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 藍住町特別土地保有税審議会条例を廃止する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 平成14年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計(住宅新築資金等貸付事業)補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 平成15年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて……………原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町高額療養費資金貸付条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町勤労者体育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正について……………原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少等に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について……………原案可決
- 鳴門市・藍住町環境施設組合の解散について……………原案可決
- 鳴門市・藍住町環境施設組合の解散に伴う財産処分について……………原案可決

## 議員提案

- 「三位一体の改革」の早期実現に関する意見書について……………原案可決

## 陳情

3件の陳情があり、議場で資料が配付された。

### ▼「清潔で公正・公平な国民奉仕を貫く公務員制度の確立を求める陳情書」

陳情者 徳島県国家公務員労働組合共闘会議 議長 黒川 威

### ▼国民の教育権及び生存権を保障するための大学制度改革を求める陳情書

陳情者 徳島大学教職員組合 執行委員長 中嶋 信

徳島県国家公務員労働組合共闘会議 議長 黒川 威

### ▼補助金増額方についての陳情書

陳情者 社団法人藍住町シルバー人材センター 理事長 三原 久



## 平成15年 第3回臨時会

6月27日の臨時会において、藍住北小学校施設（管理棟）改修及び耐震補強工事の請負契約の締結について審議し、次のとおり可決した。

請負契約額	9,870万円
請負業者	(株)フジタ 四国支店



副議長  
森 志郎

6月18日の定例会において、副議長の改選があり、森志郎氏が就任しました。

### 新副議長決まる



# 総 体 質 問

介護施設が充実していることと、介護サービスが十分受けられているところが原因と思う。介護保険法の中で減免制度があり、生活保護境界層の減免が出来る様になっている。

なぜ、藍住町の介護保険料は県下一高なのか。減免制度は必要ではないのか。

厳しい財政状況の中で対処していくには一町での対応は限界があると思う。施設等の建設に対しては、広域という観点から考えて進めざるを得ないと考える。

今後の合併問題も視野に入れた焼却場の施策は。

昨年度、西クリンステーションの改修工事を実施したことにより、最長で10年間は使用可能ということである。定期的に炉を整備し、その寿命を永らえていく。  
地元の皆様方にもご相談し、住民に対しても町の広報等を通じて、鳴門市・藍住町環境施設組合の問題点について周知徹底をしていきたい。

今後のごみ行政をどのように考えているか。



# 町政こころが聞きたい

## 議員4人が一般質問



西谷 修 議員

### 「健康日本21」について

日本の国民の平均寿命は年々伸びて、いまや、世界一の長寿国となっている。半面、健康面では生活習慣病（ガン、心臓病、脳卒中、糖尿病など）が増加の一途をたどり死因の約6割、医療費の約3割を占めるなど放置できない状況になっている。

「健康日本21」をスタートさせた。

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 休養・心の健康づくり
- ④ たばこ
- ⑤ アルコール
- ⑥ 歯の健康
- ⑦ 糖尿病
- ⑧ 循環器病（心臓病や脳卒中など）
- ⑨ ガン

事態を重視した厚生労働省は、生活習慣の改善などを通して病気の発生を予防する「一次予防」に重点を置き、2000年3月から

おける健康増進計画の策定、健康づくり運動の展開に拍車がかかるものと期待されている。さて、藍住町も健康増進法が制定されたことよって、今後の取り組みと「健康づくり支援事業」等について聞きたい。

### 策定委員会を予定

老人会くすのきの会等にグループインタビューを行い、現在の意見の分類を行っている。更に世代間の意見を聞き、分析を進めていきたい。今後、保健所と協議しながら第一回の策定委員会を開催したい。

### 「受動喫煙」について

他人のたばこの煙を吸う

ことを強いられる「受動喫煙」の防止規定がはじめて健康増進法に明記され、学校、体育館、病院、劇場、展示場、百貨店、官公庁施設、飲食店など、多くの人が利用する施設の管理者に「受動喫煙を防止するため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」（第25条）と努力義務を課している。公的施設を中心に全面的禁煙措置を打ち出す自治体も相次いでいる。

### 防止対策をしていく

保健センター・図書館・藍の館は館内禁煙となっているが、合同庁舎や他の施設においては、来庁者の喫煙コーナーの設置といった特別な対策は出来ていない。今後、必要な対策が講じられるよう関係課と協議する。

### 「申請主義」から「ご用聞き福祉」へ転換を

健康不安のある高齢者や閉じこもりがちな高齢者を、地域で積極的に支え合うネットワークづくりに取り組み動きが広がっている。福祉サービスは基本的に「申請主義」が原則となっているため、本人がサービスがあることを知らなくて申請しないと、必要なサービスを受けることができない。「ご用聞き福祉」はこのような申請主義から脱却して、必要な人に必要なサービスを届ける必要がある。介護予防に力を入れれば、長期的には介護費用が減る。また、虚弱高齢者が要介護・要支援高齢者にならないようにすることが、本人のために何より大切で

### 必要なサービスや情報提供に努める

あり、一人暮らしや虚弱になっても、安心して生活していける地域社会の実現をめざすべきだ。藍住町は、高齢者、介護保険対象外の虚弱高齢者等に福祉サービスが出来るのか。

役員関係職員はもちろん、社会福祉協議会、民生委員、ボランティアグループの皆さん等と共に高齢者福祉や障害者福祉に関する調査、相談、指導、助言及び関係行政機関に対する協力活動等行つて頂き、各種福祉施策の広報に努めていく。また、地元自治会や近所との交流を深めてもらえる体制づくりをしていきたい。





森 たけし 議員

## 高知競馬場外馬券場(パルス藍住)

3月議会で徳命地区誘致請願が採択された。メリットとして、雇用の拡大、自治体への売り上げ1%の交付等である。しかし高知競馬の現状は88億円の累積赤字で一般会計への繰り入れは20年間0円である。その為施設建設償還金・土地建物使用料負担が不可能となっている。警備、清掃業務は部落解放高知市労働事業協会へ随意契約で委託している等々考えると、町への1%交付は考えられない。4年前のJRA馬券場建設計画時にも、子供の教育、生活環境等の悪化を心配した住民の強い反対で中止している。町長、教育長は反対を。

## 地元住民の方々と也十分協議

環境・教育・交通面等様々な影響が考えられ、今後とも地元住民や関係の方々と十分協議したい。

## 交通安全整備事業

交通事故の現状は依然として深刻である。2001年度の死亡者の内、とりわけ歩行者や自転車利用者のなかでも、子供や高齢者が犠牲者になる割合が高く、歩行中が3割、自転車乗用中が1割、15歳以下が26%、65歳以上が24%であり、人対車の事故の6割は交差点で発生している。特に学校や公共施設等の付近又は通学路の生徒、児童、幼児、高齢者、身体障害者等の交

通安全確保の必要がある。通学時間帯等の歩車分離式信号等も含め、町道、歩道整備計画の提出を。

笠木交差点改良計画はどうなっているのか。

## 渋滞対策に取り組み

歩道整備については本年度、勝瑞中富線の東中学校の南側を予定している。

歩車分離式信号については朝晩のラッシュ時には車が停滞することもあるので、板野署、県と協議したい。

笠木交差点については狭くなっている南側道路の東側の用水路に床版を設置する計画。

## 文化財保護

昭和30年に藍栽培用具一式が国の重要民俗資料として指定を受け、昭和54年に藍住町重要民俗資料館の設置及び管理に関する規則が定められている。現在どういう形で管理されているのか。

国の重要文化財として勝

瑞城跡、館跡が指定され、呪符・木簡が出土するなど注目されているが、将来像はどうするのか。

藍住町指定の文化財保護を今後どう取り組むのか。

奥野の諏訪神社は昭和63年に町の文化財として、拝殿、本殿とも指定している。貴重な建築物と聞いているが、建て替えが予定されているようである。再調査して修復勧告する考えはないのか。

## 十分な管理に努める

藍栽培用具一式の管理については、ナンバリング・撮影・実測をして、台帳の整備、記録保存に努めている。

指定用具の展示は、藍の館において行っており、同等品がある場合は同等品を展示し、指

定用具は収納収蔵庫で保管管理をしている。

勝瑞城館跡については、城館跡調査整備検討委員会を立ち上げ検討している。今後、調査の成果を踏まえた整備基本構想を策定していきたい。

文化財の現状変更の申請に対しては、古材の最大限の利用と地域の歴史文化への貢献、現状保存される本殿の管理の徹底をお願いし許可をしている。

## 図書館

「図書館は生涯学習の基礎的・中核的施設」であると同時に「情報化社会の中核的な存在と文化交流の拠

点」でもある。ボランティア活動にも支えられ町民の教育・文化の拠点として役割が果たされている。益々の図書館行政の充実を願う。先日藍園村史を拝見した。肉筆で5冊の本として残され、岡本対南が書いた序文は無くなっていた。現在、保管・管理はきちんと行われているが、どの図書館でも専門書や希少本の紛失がある。藍住図書館の対策はどのようなか。

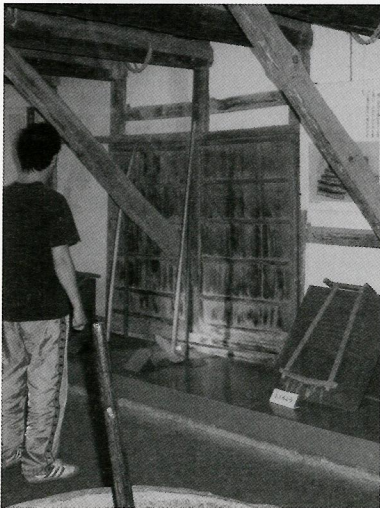
住吉村史は無いとの事、早い時期に町民に訴え寄贈して頂き図書館で保管すべきと考えるがいかかが。

町施行以来48年になるが、50周年の節目に藍園村史、住吉村史を含めた町史の改訂版発行の考えはあるのか。

## 住吉村史の寄贈の呼びかけをしたい

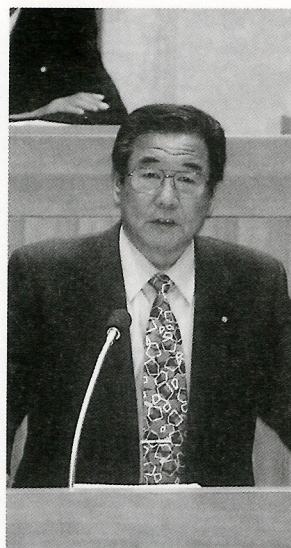
郷土史関係の希少本については持出禁止措置を講じている。

町史の改訂版については予算面等厳しい問題もあるが、発行を前提に検討したい。



藍の館で展示されている用具





喜田 敏夫 議員

### 藍住町の「行財 政改革」の取り 組みは

① 政府の「地方分権改革  
推進会議」は「三位一体」  
改革と言いながら国庫補  
助負担金及び地方交付税  
の縮小、減額するが税源  
移譲は先送りするという  
「ゴマ化し」の意見書を  
まとめた。藍住町の行財  
政改革への影響はどのや  
うなのか。

### 躊躇している状況 でない

三位一体改革は、地  
方分権時代にふさわし  
い地方税財政基盤の確  
立の為に必要不可欠  
であると考ええる。

しかし、今なお地方  
交付税や公共事業にお  
ける国庫補助負担金に  
おいて国と地方が財政  
上密接な関係にあり、  
引き続き景気の低迷に  
より地方税収入が減少  
を続けている状況にあ  
っても、住民に身近な  
町としては行政サービ  
スを提供していかなけ  
ればならない。  
このため町としては、  
国の動向を見極めつつ  
政策展開を図っていく  
ことはもちろん、いか  
に財政の健全化を図  
り、自立しうる行財政  
運営を確立することが  
出来るかについて取り  
組む必要がある。

② 藍住町の「行財政改革  
大綱」づくりの進捗状況  
はどのようなになっている  
か。

### 素案が出来次第発 表したい

3月以降において、  
行政評価に基づく見直  
し箇所の絞り込み、行  
政改革への新たな視点、  
課題の検討による実施  
計画素案への集約の検  
討を終え、行財政改革  
推進本部において行財  
政改革大綱素案及び実  
施計画素案の検討を行  
っているところであ  
る。大綱の素案につい  
ては、ほぼ成案をみて  
いる段階にある。

行財政改革の主要事  
項として、事務事業の  
見直し・組織機構の見  
直し・定員及び給与の  
関係・人材の育成・行  
政の情報化等行政サー  
ビスの向上・経費の節  
減合理化・公共施設の  
有効利用・公共工事の  
見直し・広域行政関係



有料化された職員駐車場

という9つの目標を掲  
げている。

### 進展は無い

板野郡合併検討協議  
会の中で、板野郡ある  
いは本町における合併  
問題について研究検討  
がされているが、合併  
に対する進展は今の状  
況では無い。

③ 改革の選択肢のひとつ  
に町村合併があるが、板  
野郡合併協議会はどのよ  
うな活動をしているの  
か。

④ 町長の強いリーダーシ  
ップで職員の意識改革は  
進んでいるのか。

### 必ず行財政改革を 成し遂げる

町職員の駐車場の有  
料化に踏み切り、現業  
職員の63歳定年を60歳  
に引き下げる事も決定  
した。

行財政改革の取り組  
みとしてまず一番に、  
町職員の意識改革が不  
可欠と考え、職員に行  
財政改革に対する研修  
等を継続的に行ってい  
きたい。

⑤ 徹底した情報公開で

「住民との協働」を構築  
しなければ改革は不可  
能と考えるが、町長はど  
うに考えているのか。

### 住民の理解を得な がら考えていく

住民の皆様方の理解  
を得ながら受益者負担  
等の適正化、徴税率の  
向上等を考えていくべ  
きである。





西岡 恵子 議員

### 安全対策

他の自治体での不幸な事件以来、子供達を預かる施設の安全対策が問われ、本町としても門扉等の改修が行われているが現状はいかがか。ハード面だけでなくソフト面として、PTA・地域の皆様と日頃よりの連携も必要と考える。学校を開放し地域との交流に取り組みたい学校もあるがいかがか。

又防災対策における子供達の安全についてどのように考えているのか。訓練も想定して、子供向けマニュアルも必要ではないか。ハード・ソフト両面での取り組みが安全な学校、施設づくりに繋がると思うので前向きに取り組むよう願う。

### 安全確保に努める

門扉の無かった藍中、東小・北小学校に門扉を、幼稚園、小学校には非常警報装置を設置した。

幼・小・中学校では緊急対応危機管理マニュアルを作成している。今後とも、行政・学校・地域が一体となつて子供達の安全対策に努めたい。

### 男女共同参画社会

西小学校に於いて平成14年度、男女混合名簿が導入されたが、生徒、先生、保護者の変化はいかがか。県の男女共同参画条例を推進する上においても幼い頃よりの環境・意識改革が大切と考える。男女混合名簿の

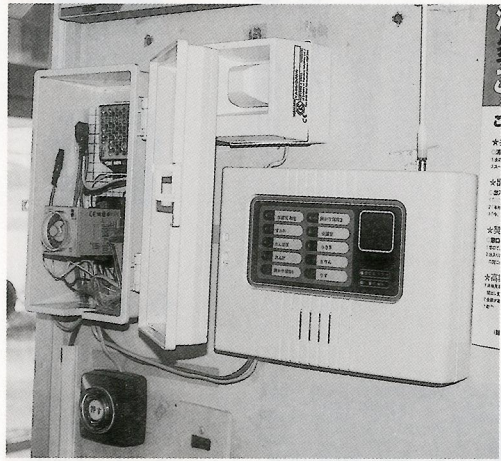
今後の取り組みについて尋ねる。

### 男女の違いを尊重

町内各小・中学校とも男女の違いを尊重しながら、男女平等教育の推進を図っている。

### 健康

平成15年5月1日より健康増進法が施行され、尚一層の国民への健康対策への取り組みが地方公共団体の責務とされている。又この法律は、一次予防(生活習慣病を改善して健康を増進し、生活習慣病等の発病を予防すること)に重点がお



幼稚園、小学校に設置された非常警報装置

かれている。本町民の特徴的疾患の予防対策について、又推進する為には健康増進計画の策定、関係機関との連携が必要と考えるがいかがか。

### 予防に重点をおく

健康日本21の策定をする際に、現在行っている事業との調和を図りながら、本町独自の案を出していきたい。

### 受動喫煙

健康増進法のなかで、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること)

と)を防止するために必要な措置を講ずるよう努めること、とある。受動喫煙防止対策が示された今、本庁内でも来庁者に対し、又職場での健康被害について、早急な対応が必要と考えるがいかがか。

### 早急に協議する

受動喫煙防止対策については具体的な対策を今後協議していく。

### 看板

公的・私的看板が町内で見つとき、公的看板については、町内公的施設への案内と思われるが、機能が果たされていないものもある。防災施設を兼ねているところもあり、点検が必要ではないか。

私的看板については、町内いたるところで商業PRとして置かれているが、その設置場所によっては安全性が問われているものもある。又、工事現場等での安全確保の為の看板についてもきちんと設置できているのか等、これら行政の管理・

指導はどのようにされているのか。

### 点検し改善を図る

学校等の周辺、通学路等に置かれると子供達や自転車の通行に危険であり、撤去するよう指導していく。

### 出張

職員出張について主な内容としてどのようなものがあるのか、又その費用について尋ねる。地方分権、行政改革を進めるなか職員は必要と考える。出張への工夫等、今後の取り組みについて伺う。

### インターネットを活用した研修に努める

主に県庁や他の市町村で行われる会議、研修等への出張等がある。旅費の支給の種類については鉄道賃また船賃、航空賃、車賃、日当、宿泊料、通行料等となっている。



# 視察研修報告

行財政改革の取り組みについて沖縄県南風原町と名護市を、議会運営について北谷町を視察した。

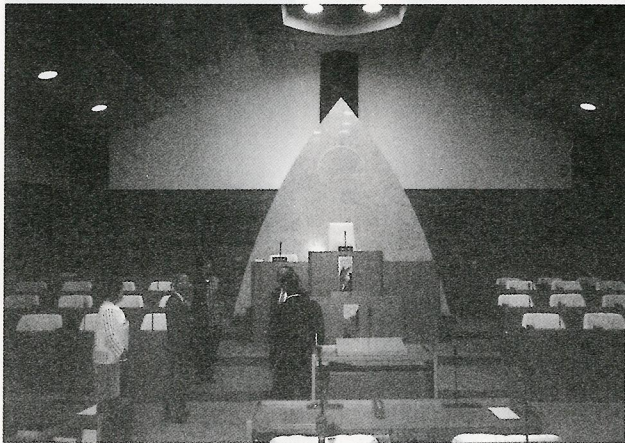
南風原町では「行政改革推進本部」において実施計画の進行管理を行い、毎年住民等で組織する「行政改革推進委員会」に進行状況を報告すると共に、広報紙等を通じて町民に公表していくとのことであった。

北谷町議会では議員定数が22名で、一般質問は毎回11〜17名と多く、開かれた議会を目指した活発な取り組みをしている。

南風原町では「行政改革推進本部」において実施計画の進行管理を行い、毎年住民等で組織する「行政改革推進委員会」に進行状況を報告すると共に、広報紙等を通じて町民に公表していくとのことであった。

北谷町議会では議員定数が22名で、一般質問は毎回11〜17名と多く、開かれた議会を目指した活発な取り組みをしている。

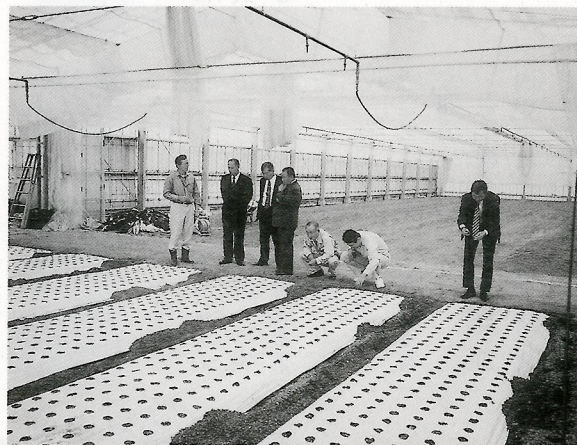
## 総務常任委員会



北谷町議会議場

- ◆ 5月13日～5月15日 総務常任委員会
- ◆ 5月21日～5月23日 建設産業常任委員会
- ◆ 5月21日～5月23日 文教常任委員会
- ◆ 5月26日～5月28日 厚生常任委員会が視察研修をした。

## 建設産業常任委員会



長谷川農園

もみから堆肥で成果を上げている新潟市長谷川農園、新潟統計情報事務所、青果物市況概況等の把握のため東京シティ青果を、下水道事業の先進地である群馬県安中市と神奈川県寒川町を視察した。

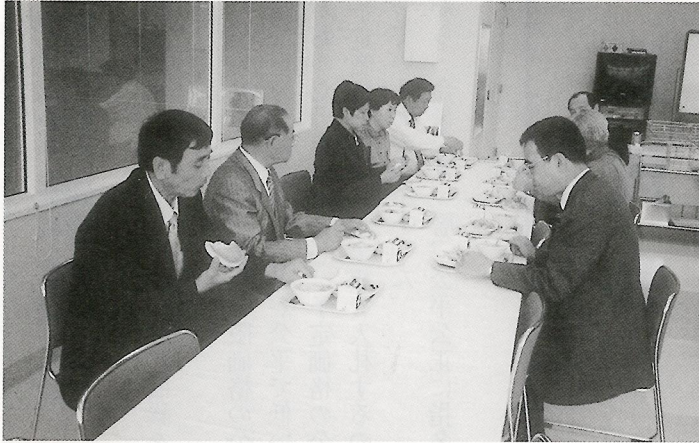
長谷川農園は、処分にもみながらを微生物で発酵させ堆肥化し有効利用してちんげんさいを生産している。

東京シティ青果では洋人参等の市場概況等について研修した。

安中市は受益者負担金の一括納付報奨金、浄化槽廃止補助金等の制度を設けており、寒川町は下水道供用開始後の普及啓発について、「下水道ふれあい教室」の開催や助成金・利子補給制度の拡充等を行っている。



# 文教常任委員会



沼田市給食センター

学校開放について東京都足立区立千寿桜小学校、学校給食における食材の地産地消の取り組みについて群馬県沼田市給食センター、史跡整備事業について群馬県前橋市大室公園を視察した。

千寿桜小学校は地域に開かれた学校施設を目指し、屋内運動場や図書室、音楽室等を地域住民に開放している。

沼田市では「沼田市学校給食地場産農産物等利用促進協議会」を設置し、給食センターと連携しながら年

に数回、季節の旬である農産物を給食に取り入れているとの事であった。

前橋市大室公園は古墳の特色を生かしながら自然景観と歴史的景観の一体化、現状を生かした整備であった。

# 厚生常任委員会



JFE 福山原料工場

子育て支援について熊本県大津町、介護予防の取り組みについて熊本県菊水町、使用済みプラスチックリサイクルシステムについて広島県JFEスチール福山原料化工場と福岡県新日鐵八幡製鉄所を視察した。

大津町では児童福祉施設を充実させており、ファミリー・サポート・センターへの利用補助をはじめとする利用料金を低額に抑えた運営を行っている。

菊水町は介護保険料基準額が熊本県内では最高額であり、その対策として介護予防リーダー養成講座の開

設等介護予防事業に取り組んでいる。

JFEスチール福山原料化工場と新日鐵八幡製鉄所では、使用済みプラスチックを容器包装リサイクル法に基づき、圧縮減容後、リサイクルするシステムについて研修した。



## 建設産業常任委員会

6月16日、建設産業常任委員会を開催し、土木工事について協議を行った。

入札の方法についての意見で、現在は予定価格、最低制限価格の公表をしているが、予定価格の公表は止めて競争をした方が公平で低い落札金額になるのではとの質問があった。それに対し、予定価格の公表により入札参加全ての業者が予定価格を下回った金額で入札するので、今までより経費の削減になっているとの事であった。

土木工事の指名について町長から、今後より一層、公平公正に指名していくとの答弁があった。

## 厚生常任委員会



徳島城公園を視察する委員

7月14日、ポイ捨て及び犬のふん害の防止に関する条例の制定に向けて厚生常任委員会を開催し、先進的な取り組みをしている徳島市と北島町を視察後、協議を行った。

清潔で美しい町づくりを推進し、生活環境を整備する為の施策として、ポイ捨てや犬のふん害を防止する為協議をしてきた中で、条例の提案に際しては議員提案としていく事とした。

## 全体研修

6月23日～25日の3日間の日程で北海道七飯町、新日本製鐵(株)室蘭製鉄所、美唄市を視察した。

七飯町においては介護予防事業に重点を置くことで、給付費の実績を当初計画の約7割程度にとどめ保険料据置きが出来た。

室蘭製鉄所では、使用済みプラスチックコークス炉化学原料化システムを見学した。

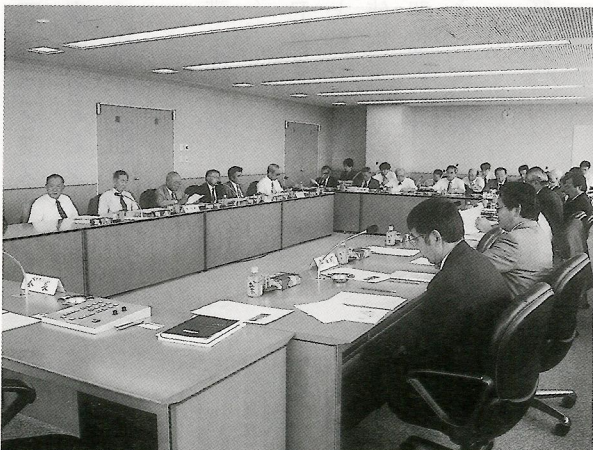
美唄市では補助金、手数料等の見直し、ごみ処理の有料化等行財政改革に取り組んでいた。



新日本製鐵(株)室蘭製鉄所

## 板野郡町議会議長会 合併連絡協議会

7月28日、板野郡町議会議長会第1回合併連絡協議会が藍住町議会委員会室1において開催された。市町村合併の今後の取り組みについて、徳島県地域振興局市町村合併支援チームによる講演・質疑及び意見交換等を行った。



第一回合併連絡協議会



# 町民の声

## 介護制度の公正な運用望む

乙 瀬 井 上 常 男

藍住町の介護保険料は、県内市町村の中では、最高額であるため、町民間では、これに対する不満の声があがっています。なぜ、藍住町の介護保険料が高いのか、町の担当課に聞きますと、保険料が高いのは、介護報酬の支払いが多いからであり、介護報酬の支払いについては、法制度上、介護支援専門員（ケアマネージャー）の作成した介護計画によつて、介護を行った介護業者が、国保連合会に報酬の請求を行い、その審査に基づき、町が支払いをしているとのことと。

厚生労働省などによると、

この介護計画は公正に行うべきものであるが、これを作成するケアマネージャーは、介護事業者に雇用されているため、公正な計画ができ難い場合があり、架空、水増し等の不正請求が行われ、毎年大幅に増えているのが実情で、昨年、全国で、48件、10億5千万円の不正があったが、これらは、氷山の一角といわれています。

このようなことでは、私たちが納める介護保険料は今後、さらに大幅な引き上げが懸念されます。

介護をめぐる、このような問題が起こるのでは、国

民の介護制度に対する信頼を低下させることになりかねません。国や自治体は、介護行政に対しては、公正な運用で、国民の不満や不信感の解消に努力して欲しいものです。以上

## 介護保険料の高騰を防ぎましょう

東中富 福島 正 美

今年4月から介護保険料が見直しされ、県下市町村で1カ月平均931円値上げされ平均で4,251円となりましたが、当藍住町は県下最高の4,930円となりました。高齢者は年金が減り医療費の値上げ、増税等の上で介護保険料の大巾アップによって老後の生活は一層苦しくなってお

ります。藍住町は保険料上昇をおさえる施策を色々進めておりますが、介護サービス受給が急増していますので3年後には再度大巾値上げになることが予想されます。そこで次のようにすれば値上げは回避できると思われ、ご理解ご協力をお願いした

いと思えます。

第1点は、介護度の軽い人がカラオケ等遊び中心のデイサービスを多数受けておりますが介護と直接関係のないようなサービスはできるだけ自重してほしいのです。

第2点は、病院等介護事業所が娯楽施設等を必要以上に充実させ、また送迎車両も必要以上に増車するなど要介護者の獲得競争が激しくなっております。このようなことも介護報酬増加の原因になりますので、モデルをもつて本来の介護に重点をおくようお願いしたいのです。

第3点は、全町民が平素から健康に留意し、介護の世話にならないよう体を大切にしていきたい。

以上のようにして介護保険料の高騰を防ぎましょう。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集します。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

### 投稿規定

- 一、住所・氏名・電話番号を明記
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。



# 議会のへいれ

## 5月

12日 鹿児島県笠利町議会視察  
来庁(幼保一元化)

13～15日 総務常任委員会研修(沖縄県)

14日 議会だより編集委員会

19日 教育施設整備公社決算審査

20日 商工会第43回通常総代会

21～23日 板野郡町議会議長会第2回定例会

建設産業常任委員会研修(群馬県・神奈川県・東京都・新潟県)

23日 文教常任委員会研修(東京都・群馬県)

26～28日 町村議会議事務局・職員研修会

厚生常任委員会研修(広島県・福岡県・熊本県)

27日 県町村議会議長会理事會・郡地区事務局長会合同会議

28日 藍住町福寿連合会第44回定期総会

29～30日 第28回町村議会議長研修会(東京都)

## 6月

2日 鳴門藍住地区農業改良普及協議会総会

議会全員協議会

議会運営委員会

鳴門市・藍住町環境施設組合臨時会

陳情(公務員制度の確立・大学制度改革)

6月議会開会

6月議会一般質問

6月議会一般質問

建設産業常任委員会

陳情(藍住町シルバー人材センター補助金)

6月議会閉会

20日 教育施設整備公社理事會

23日 鳴門市・藍住町環境施設組合臨時会

23～25日 国民平和大行進

27日 議員全体研修(北海道)

第3回臨時議会

議会全員協議会

県町村議会議長会臨時総会

陳情(介護保険料)

1～2日 第50回町村議会議事務局職

## 7月

1～2日 第50回町村議会議事務局職

8日 員研修会(東京都)

14日 第36回四国治水期成同盟連合会通常総会

18日 厚生常任委員会

25日 県町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会

26日 県町村議会議長会理事會・郡地区事務局長会合同会議

28日 厚生常任委員会

31日 第27回あいずみ納涼祭開会式

31日 板野郡町議会議長会第1回合併連絡協議会

31日 議会全員協議会

31日 板野東部消防組合議会第1回臨時会



夏休みに阿波おどりの練習(東小学校)

### ● 本会議を傍聴しませんか ●

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受けつけていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承下さい。

### ● 定例会案内 ●

次の定例会は9月です。次号は11月に発行します。

お問い合わせ 議会事務局 ☎637・3127

## 編集後記

九州地方では梅雨前線による集中豪雨で死者を含む未曾有の災害に遭った。また宮城では震度6強の地震が一日に3回も続き三日たっても震度5の余震があるという災害が発生した。死者はなかつたものの被害は甚大であり、現地の人々の恐怖は想像を絶するものであろう。

これを機に「南海地震」に備えての対策強化がされることになるだろうが、これだけ科学技術が発達した現代、人類の叡智を結集しても「自然の摂理」にはまったく無力であることを改めて知っておくべきである。

## 議会だより 編集委員会

- 委員長 喜田敏夫
- 副委員長 西岡恵子
- 委員 永浜茂樹
- 委員 西谷 修
- 委員 古川義夫